### 食育事業取組報告書(猿橋小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・(作る)・(食べる)・返す	実施年月日	令和5年 11月 24日(1組) 令和5年 11月 20日(2組) 令和5年 11月 21日(3組)
教科名	総合的な学習の時間	化道李	1:栄養教諭
単元名	新発田の魅力発見! 「ふるさと新発田弁当を作ろう!」	指導者	2:学級担任/家庭科担当
ねらい	・新発田の地場産物や新発田の「食」について知り、ふるさとへの愛着をもつ。 ・弁当を作る際のポイントを知り、家庭科の学習と関連させながら、新発田の地場産野菜を使った弁当を作ることができる。		

児童・生徒の活動

支援・指導上の留意点

資料

## 1次 新発田の食について考えよう

- ・学習のゴール「新発田の食材を使っておいしいふるさと新発 を進める。 田弁当を作ろう」を知り、見通しをもつ。
- ・新発田の地場産物を調べる。

#### 2次 新発田の食への思いを知ろう

・オータムポエムのよさや使った料理、生産者の苦労や思い を知る。

#### 3次 お弁当作りの計画を立てよう

- ・お弁当作りのポイントを知る。
- ・お弁当作りの計画を立てる。

## 4次 ふるさと新発田弁当を作ろう(弁当の日)

・計画に沿って弁当を作る。

#### 5次 新発田の食をまとめよう

- 弁当作りを振り返る。
- ・新発田の「食」をまとめる。

◆西共同調理場栄養教諭と連携し、調理実習の計画や実習

- ◆新発田の地場産物(オータムポエム、にんじん、ブロッコ リー、ミニトマト、キャベツ)を使い、調理実習を行う。
- ◆弁当作りの5つのポイント「お・い・し・そ・う」を 押さえた弁当の献立作りとなるようにする。









成 果 ع 課

題

・学年の発達段階に応じた食育指導を実施することができ、食に対する関心やマナーを向上させることができた。

・新発田産の食材の魅力についてタブレットで調べたり、実際に食べた経験を振り返ったりして、パンフレットにまとめることができた。 ・3年「新発田の宝物さがし」では、新発田の特産物でアスパラガスについて調べた。生産者の方から話を聞いたり、試食したりしたこ とで、アスパラのメニューを自分たちで考えたいと意欲を高めた。学習のまとめとして、自分たちの考えたメニューをタブレットでまとめ て紹介したり、アスパラを中心にした劇を考え、学習参観の場で発表したりした。給食の献立への提案や食べてもらった感想募集な ど、活動の広がりやつながりを実感できる場の設定したい。

# 家 庭 の 地 地 携

- ・有機資源センターからの堆肥を活用し、花や野菜などの栽培活動を行うことができた。(1~4、6学年、学習室)
- 「元気アップカード」を活用し、健康に過ごす習慣や朝食の大切さを親子で確認することができた。(全学年)
   夏休みや冬休みには、家庭科で学習したことを家庭で実践する課題「炒め物料理を作ろう」「一食分の献立を作ろう」を課し、家庭で の協力をお願いした。長期休み中であったが、作った料理は、一人1台のタブレットを使って写真を提出した。(6学年)